

SC1

あなたの年齢をお知らせください。

歳

次へ

0

50

100(%)

SC2

あなたの性別をお知らせください。

- 1 男性
- 2 女性

次へ

0

50

100(%)

SC3

あなたのお住まいの地域をお知らせください。

[-- ▼]

次へ

0

50

100(%)

SC4

あなたのお住まいの市町村をお知らせください。

- | 大阪市域 | 南部大阪地域 |
|-----------|------------|
| 1 ○ 大阪市 | 22 ○ 堺市 |
| <hr/> | |
| 北部大阪地域 | 23 ○ 岸和田市 |
| 2 ○ 豊中市 | 24 ○ 泉大津市 |
| 3 ○ 池田市 | 25 ○ 貝塚市 |
| 4 ○ 吹田市 | 26 ○ 泉佐野市 |
| 5 ○ 高槻市 | 27 ○ 富田林市 |
| 6 ○ 茨木市 | 28 ○ 河内長野市 |
| 7 ○ 箕面市 | 29 ○ 松原市 |
| 8 ○ 摂津市 | 30 ○ 和泉市 |
| 9 ○ 島本町 | 31 ○ 羽曳野市 |
| 10 ○ 豊能町 | 32 ○ 高石市 |
| 11 ○ 能勢町 | 33 ○ 藤井寺市 |
| <hr/> | |
| 東部大阪地域 | 34 ○ 泉南市 |
| 12 ○ 守口市 | 35 ○ 大阪狭山市 |
| 13 ○ 枚方市 | 36 ○ 阪南市 |
| 14 ○ 八尾市 | 37 ○ 忠岡町 |
| 15 ○ 寝屋川市 | 38 ○ 熊取町 |
| 16 ○ 大東市 | 39 ○ 田尻町 |
| 17 ○ 柏原市 | 40 ○ 岬町 |
| 18 ○ 門真市 | 41 ○ 太子町 |
| 19 ○ 東大阪市 | 42 ○ 河南町 |
| 20 ○ 四條畷市 | 43 ○ 千早赤阪村 |
| 21 ○ 交野市 | |

次へ

SC5

あなたの職業を教えてください。

- 1 会社役員・団体役員
- 2 会社員(正規雇用)
- 3 会社員(派遣・契約など非正規雇用)
- 4 公務員・団体職員
- 5 パート・アルバイト
- 6 自営業・自由業
- 7 農林水産業
- 8 家内労働・在宅ワーカー
- 9 専業主婦・専業主夫
- 10 無職
- 11 学生
- 12 その他

次へ

0

50

100(%)

男女の「仕事」「家庭」「地域活動」の関わり方についてお伺いします。

Q1

あなたの経験に照らし、次のことがらについて、あなたの考えに最も近いものを一つ選択してください。(それぞれひとつずつ)

※「地域活動」とは、自治会、PTA、民生委員、NPOやボランティアでの活動などをさします。

	そう思う	どちらかといえそう思う	どちらかといえそう思わない	そう思わない	わからない・経験がない
1 男は仕事、女は家庭という考え方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 以前に比べて、社会で女性が活躍しやすくなっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 地域活動(※)が以前より活性化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

Q2

大阪府では、男女共同参画の推進と青少年の健全育成を目的にドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)を運営しています。
あなたは、このセンターについて知っていますか。

<https://www.dawncenter.jp/>

- 1 どのような施設か知っている
- 2 聞いたことはあるが、どのような施設か知らない
- 3 聞いたことがなく、どのような施設かも知らない

次へ

0

50

100(%)

Q3

ドーンセンターでは、「女性のためのコミュニティスペース」を開設し、困難や課題を抱える女性の支援を実施しています。

あなたは、この事業について知っていますか。

<https://www.dawncenter.jp/community-space/>

- 1 どのような事業か知っている
- 2 聞いたことはあるが、どのような事業か知らない
- 3 聞いたことがなく、どのような事業かも知らない

次へ

0

50

100(%)

Q4

ドーンセンターの「女性のためのコミュニティスペース」を知ったきっかけや方法は何ですか。(いくつでも)

- 1 チラシ
- 2 フリーペーパー
- 3 新聞広告等
- 4 SNS、WEB(Instagram、Twitter等)
- 5 大阪府(ホームページ、府政だより等)
- 6 ドーンセンター(ポスター、チラシ、ホームページ等)
- 7 知人、友人
- 8 その他

次へ

0 50 100(%)

Q5

ドーンセンターでは、「女性のためのコミュニティスペース」開設以外にも、次の事業を実施しています。

この事業について知っていますか。(それぞれひとつずつ)

知	聞	聞
っ	ど	ど
て	の	の
い	よ	よ
る	う	う
	な	な
	事	事
	業	業
	か	か
	知	、
	ら	も
	な	知
	い	ら
		な
		い

1 女性のためのSNS相談事業	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
2 女性のための電話相談	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
3 女性のための面接相談	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>
4 男性のための電話相談	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>

Q6

「女性のためのコミュニティスペース」や上記相談事業について、利用したい、家族や知り合いに紹介したいと思いませんか。

- 1 利用したいし、家族や知り合いにも紹介したい
- 2 利用したいが、家族や知り合いには紹介したくない
- 3 利用する予定はないが、家族や知り合いには紹介したい
- 4 利用する予定はないし、家族や知り合いにも紹介したくない

次へ

0

50

100(%)

次に、配偶者暴力についてお伺いします。

Q7

あなたは、次のようなことが夫婦(生活の本拠を共にする交際相手を含む)間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。

あなたの考えに最も近いものを一つ選択してください。(それぞれひとつずつ)

	常に暴力だと思う	時々暴力だと思う	暴力だと思わない
1 平手でうつ	1○	2○	3○
2 なぐるふりをして、おどす	1○	2○	3○
3 なぐる、ける	1○	2○	3○
4 家具などの物にあたる、壊す	1○	2○	3○
5 望まないのに性的な行為を強要する	1○	2○	3○
6 無理矢理ポルノ画像などを見せる	1○	2○	3○
7 何を言っても無視し続ける	1○	2○	3○
8 暴言をはいたり、ばかにしたり、見下したりする	1○	2○	3○
9 自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要する	1○	2○	3○
10 友達や身内とのメールや電話をチェックしたり、つきあいを制限したりする	1○	2○	3○
11 本人の許可なく性的な写真や動画などを一般に公開する	1○	2○	3○
12 子どもに危害を加えたり、子どもを取り上げようとする、又は子どもの前で暴力をふるう	1○	2○	3○

次へ

Q8

あなたは、配偶者やパートナー、交際相手から、身体的暴力(なぐる、ける、等)や精神的暴力(暴言を吐く、何を言っても無視し続ける、等)、社会的暴力(友達や身内とのメールや電話をチェックしたり、つきあいを制限したりする、等)、経済的暴力(働くことを邪魔したり仕事をやめさせたりする、等)、性的暴力(同意のない性的行為を強要する、等)を受けたことがありますか。

また、そのような経験がある場合は、それを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

- 1 暴力を受けた経験があるが、誰にも相談しなかった
- 2 暴力を受けた経験があり、誰かに相談した
- 3 暴力と思われるものを受けた経験はない

次へ

0

50

100(%)

Q9

大阪府では、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」に基づき、被害者からの相談に乗ったり、必要な支援を行っています。
あなたはこの法律について知っていますか。

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 聞いたことがなく、内容を知らない

次へ

0

50

100(%)

Q10

都道府県や一部の市町村では、配偶者からの身体的・精神的暴力の防止や、被害者の保護を目的に、相談や各種情報提供などを行う「配偶者暴力相談支援センター(※)」を各所に設置しています。

あなたは、「配偶者暴力相談支援センター」についてどの程度ご存知ですか。

※ 大阪府内では大阪府女性相談センター(大阪府中央区)、大阪府子ども家庭センター(府内6箇所)、大阪市、堺市、吹田市、枚方市、茨木市、豊中市、松原市の各所に「配偶者暴力相談支援センター」の機能があります。(令和4年1月現在)

- 1 よく知っている
- 2 よくは知らないが、名称は聞いたことがある
- 3 名称は知らないが、配偶者からの暴力の相談、情報提供などを行う施設等があることは知っている
- 4 知らない

送信

0

50

100(%)

児童虐待の防止についてお伺いします。

「児童虐待の防止等に関する法律」では、18歳未満の者を児童とし、保護者が児童に対して行う主に次のような行為を「児童虐待」と定義しています。

- ・身体への暴行
- ・児童へのわいせつ行為と、わいせつ行為をさせること
- ・心身の正常な発達を妨げる減食・長時間の放置
- ・著しい暴言・拒絶的反応・配偶者への暴力を見せるなど著しい心理的外傷を与える言動を行うこと
- ・保護者以外の同居人による前記の行為と同様の行為を放置すること など

Q1

児童虐待等の連絡先として平成27年7月より、児童相談所全国共通ダイヤルが「189」（いちはやく）という3桁の番号になり、令和元年12月に、「児童相談所虐待対応ダイヤル」へ名称が変更されました。あなたはこの3桁の番号を知っていましたか。

- 1 虐待対応ダイヤルがあることも、それが「189」であることも知っていた
- 2 虐待対応ダイヤルがあることは知っていたが、それが「189」であることは知らなかった
- 3 虐待対応ダイヤルがあることも、それが「189」であることも知らなかった

次へ

0

50

100(%)

Q2

前問で(〇〇〇(Q1回答テキスト再掲))と答えた方にお伺いします。

「虐待対応ダイヤル」について、あなたが見聞きしたことがあるものを、すべて選んでください。(いくつでも)

- 1 知事や市町村長が着用している児童虐待防止オレンジジャンパー
- 2 オレンジリボンキャンペーン※
- 3 児童虐待に関するリーフレット・ポスター
- 4 大阪府や市町村の広報誌
- 5 大阪府や市町村のホームページ
- 6 大阪府や市町村以外のインターネット(SNS含む)
- 7 テレビ、ラジオ
- 8 新聞、雑誌
- 9 友人・知人からの口コミ
- 10 その他
- 11 わからない/覚えていない

※「オレンジリボンキャンペーン」とは、児童虐待防止に対する意識を高めるため、11月の児童虐待防止月間を中心として全国で行われる、広報啓発活動等の取組みです。大阪府では、ガンバ大阪との連携ポスターによる広報啓発や、オレンジライトアップ、デジタルサイネージによる広報啓発などによるキャンペーンを行いました。

次へ

0 50 100(%)

Q3

児童虐待を受けたと思われる児童を見つけた人は、「児童虐待の防止等に関する法律」に基づき、速やかに福祉事務所又は児童相談所等に通告しなければならない義務があります。

あなたは、このことを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

次へ

0

50

100(%)

Q4

令和元年6月に児童福祉法等改正法が成立し、親権者等は、児童のしつけに際して、体罰を加えてはならないことが法定化され、令和2年4月から施行されました。
あなたは、このことを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

次へ

0

50

100(%)

障がいに対する理解についてお伺いします。

Q5

内部障がいのある方や難病の方など、外見からはわからない援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方にそれを知らせる「ヘルプマーク」について、大阪府及び市区町村では平成29年6月から配布を開始しました。あなたはこの「ヘルプマーク」を知っていますか。



<https://www.pref.osaka.lg.jp/keikakusuishin/helpmark/index.html>

- 1 マークも意味も知っている
- 2 マークを見たり聞いたりしたことはあるが、意味は知らない
- 3 知らない

次へ

0 50 100(%)

Q6

困っていそうな方や、配慮が必要と思われる方に遭遇した時に、「席をゆずる」、「声をかける」、「災害時に安全に避難できるよう支援する」等、何らかの配慮をしたことがありますか。

- 1 配慮をしたことがある
- 2 配慮をしたことがない
- 3 困っていそうな方や、配慮が必要と思われる方に遭遇したことがない

次へ

0

50

100(%)

Q7

■前問で「配慮をしたことがない」を選択した方にお伺いします。■
配慮をしたことがない理由を教えてください。(いくつでも)

- 1 どういった配慮をしたらよいかわからなかったから
- 2 自分が配慮しなくても、誰かが配慮してくれると思ったから
- 3 配慮をしようと思ったが、自分以外の方が先に配慮をしていたから
- 4 声をかける勇気がなかったから
- 5 その他

次へ

0

50

100(%)